

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

形 名

VFE-8JDTタイプ

VFE-10JDTタイプ

VFE-12JDTタイプ

VFE-50STタイプ



東芝空調換気扇

取扱説明書

- このたびは東芝空調換気扇をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 取扱説明書を、販売店または工事店から必ず受けとって保存してください。

もくじ

安全上のご注意	1 ~ 2
各部のなまえ	3
取り付けかた	4
使いかた	5
仕 様	6
お手入れのしかた	7 ~ 9
修理を依頼される前に	11
ご不明な点や修理に関するご相談は	11

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意

- 商品および取扱説明書にはお使いになるかたやほかの人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明



警告

“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定される内容”を示します。



注意

“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定される内容”を示します。

＊１：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明



禁止

○は、禁止（してはいけないこと）を示します。

具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



指示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。

具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

警告



使用を中止する

異常・故障時にはすぐに使用を中止する

発煙・発火・感電の原因になります。

すぐに電源を切って、お買い上げの販売店または、東芝エアコン空調換気ご相談センターに点検・修理を依頼してください。

《異常・故障例》

- スイッチを入れても羽根が回転しない
- 運転中に異常音や振動がする
- 回転が遅い、または不規則
- こげ臭いにおいがする



改造禁止

改造はしない

火災・感電・けがの原因になります。



取付け依頼

取付け・移設は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する

取付工事が不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。



分解・修理禁止

修理技術者以外の人は、分解、修理（※）をしない

火災・感電・けがの原因になります。

※修理はお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。



確実に取り付ける

取付けは、取付説明書に従って確実に行う

取付が不完全なときは、水漏れ・火災・感電・部品落下によるけがの原因になります。



入り切り禁止

ガス漏れのときは、換気扇のスイッチを入れたり切ったりしない

ガス爆発の原因になります。



プラグを抜く

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカーを切る

またぬれた手で操作しない

感電・けがの原因になります。



取付注意

電源コードはゆとりをもたせ、電源プラグに力がかからないようにする

また、つっぱらないようにゆとりをもたせて配線する

火災・感電の原因になります。



水かけ禁止

水や洗剤などをかけたり、吹きつけたらない

感電の原因になります。











操作禁止











**スイッチはぬれた手で操作しない
ぬれた手で運転ボタンに触れない**

感電の原因になります。

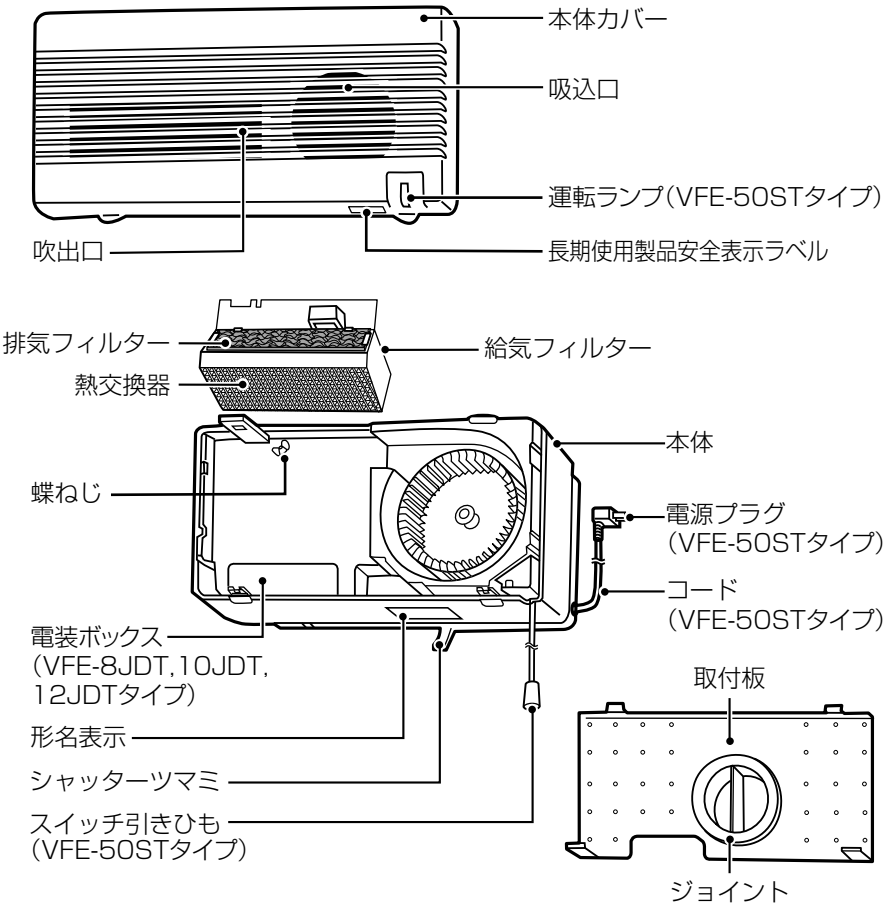
⚠ 警告

 <p>電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く（電源プラグ付の場合） 火災の原因になります。</p>	 <p>電源は交流 100V を使う 交流 100V 以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。</p>
 <p>電源プラグは根元まで確実に差し込む 確実に取り付ける 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 傷ついたプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>	 <p>電源コード、電源プラグを破損するようなことはしない（傷ついたり、加工したり、熱器具に近づけたり、引っ張ったりしないこと） 破損禁止 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。</p>
 <p>電源コードを傷つけたり、加工したり、たばねたりしない 電線に荷重をかけない 禁止 火災・感電の原因になります。</p>	 <p>電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 禁止 火災・感電の原因になります。</p>
 <p>燃焼ガスの排気を吸い込まない位置にする 取付注意 室内が酸欠状態となり、重大な事故の原因になります。</p>	 <p>本体カバーのすき間から棒や針金を入れない 接触禁止 感電・けがの原因になります。</p>

⚠ 注意

 <p>本体カバー・熱交換器などの部品は確実に取り付ける 確実に取り付ける 落下により、けがをする原因になります。</p>	 <p>長期間で使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、または分電盤のブレーカーを切る プラグを抜く 絶縁劣化による火災、感電の原因になります。</p>
 <p>浴室など湿気の多いところでは使わない 使用禁止 漏電により火災・感電の原因になります。</p>	 <p>電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く（電源プラグ付の場合） プラグを持って抜く コードに傷がつき、火災・感電の原因になります。</p>
 <p>炎が当たる場所には取り付けない 炎禁止 火災の原因になります。</p>	 <p>異常な振動がするときは、使わない 使用禁止 本体・部品の落下により、けがの原因になります。</p>
 <p>天井には取り付けない 取付注意 落下により、けがの原因になります。</p>	 <p>お手入れのときは、ゴム手袋を着用する 手袋着用 手袋を着用しないと、けがの原因になります。</p>
 <p>強度のある場所に確実に取り付け 確実に取り付ける 落下により、けがをする原因になります。</p>	 <p>機械および化学工場など、酸・アルカリ・有機溶剤・塗料などの有毒ガス、腐食性成分を含んだガスが発生する場所には取り付けない 取付注意 ガスによる中毒・発火の原因になります。</p>

各部のなまえ



●付属品(据付工事用)

全タイプ共通			
部 品 名	パイプ	木ねじ (取付板固定用)	ジョイント
個数	1本	4本	1個

VFE-50STタイプ(コード左出し用)			
部 品 名	タッピンねじ (φ4×12L)	コード止め	割りチューブ
個数	1本	1個	1本

●別売部品

交換用給気フィルター
F-50S

前 側

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた右の表示を本体に行っています。



【製造年】○○○○年 【設計上の標準使用期間】 10年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

■設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件 JIS C 9921-2による

環境条件	電 圧	単相100V		機器の定格電圧による
	周 波 数	50／60Hz		
	温 度	20℃		JIS C 9603参照
	湿 度	65%		
	設置条件	標準設置		機器の据付説明書による
負荷条件		定格負荷（換気量）		機器の取扱説明書による
想定時間	1年の使用時間	換気時間*		
		●台 所 2,410時間／年	●トイレ 2,614時間／年	
		●居 室 2,193時間／年	●浴 室 1,671時間／年	
注)* 常時換気（24時間連続換気）のものは、8,760時間／年とする。				

■経年劣化とは

- 長期にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。
- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

取り付けかた

取付説明書に記載してある注意事項、取付方法により付属品を利用し取り付けます。
電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。

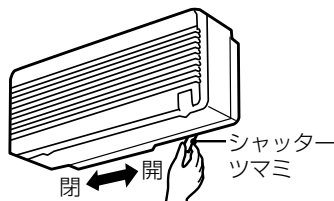
使いかた

建築基準法に定められた機械換気設備としてご使用の場合は運転を止めないでください。
長時間停止した場合、屋内環境が悪化し法律で定める基準をこえることがあります。

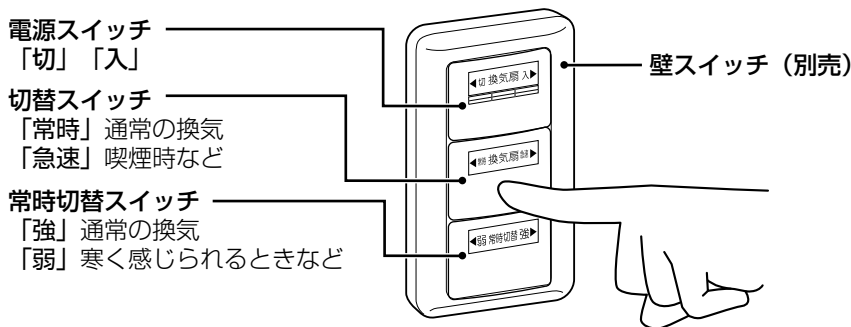
- 1 運転するときは必ずシャッターが「開」になっていることを確認してください。シャッターツマミの操作は本体の形名表示ラベルにしたがって左右に動かしてください。

お願い

- 運転するときは必ずシャッターを開いてください。
(シャッターが閉じていると換気されません)
- 風雨の激しいときは、一時的に運転を停止してください。



2-1 壁スイッチを操作して運転してください。(VFE-8JDT, 10JDT, 12JDT タイプ)

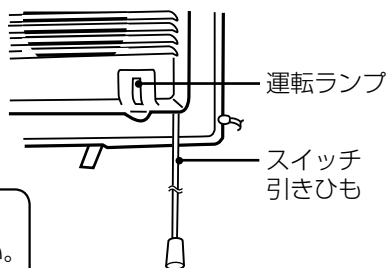


2-2 スイッチ引きひもを引き、強・弱を選んで運転してください。(VFE-50ST タイプ)

スイッチ引きひも操作	風量調節	運転ランプ
 引く	1 回	強
	2 回	弱
	3 回	停止
		点灯
		消灯

お願い

- スイッチ引きひもは、ゆっくり確実に引いてください。
強く引きますとスイッチが故障する原因になります。



仕 様

電圧 100V(50Hz・60Hz 共用)

機種名	ノッチ	消費電力 (W)		換気風量 (m³/h)				有効換気量 (m³/h)		温度交換効率 (m³/h)		騒音 (dB)		質量 (Kg)
				給気		排気								
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
VFE-8JDT	急速	27	29	76	81	84	88	34	36	60	60	39	40	4.4
	強	10	10	41	38	45	43	20	19	70	70	24.5	23	
	弱	6.5	6.5	29	28	33	31	16	15	75	75	17.5	16.5	
VFE-10JDT	急速	27	29	76	81	84	88	34	36	60	60	39	40	4.4
	強	15	16	55	53	61	59	25	25	65	65	31	30	
	弱	8.5	8.5	39	37	43	41	19	19	70	70	23.5	23	
VFE-12JDT	急速	27	29	76	81	84	88	34	36	60	60	39	40	4.4
	強	17	18	59	58	65	64	27.5	27.5	65	65	33	32	
	弱	10	10	41	39	46	43	20	19	70	70	24.5	23.5	
VFE-50ST	強	20	21	62	62	68	68	28	28	63	63	34	34	4.3
	弱	11	11	41	40	47	45	19	18	70	70	24.5	23.5	

※給気・排気風量は、JIS C 9603 チャンバー法による測定値です。

※有効換気量は JIS B 8628 減衰法による測定値です。

※騒音は当社無響室における測定値です。

※給気・排気風量、有効換気量、騒音は屋外フード（C-702R シリーズ、C-703R シリーズ、C-704R シリーズ、C-701LY シリーズ、C-704LY シリーズ） および付属のパイプを組み合わせた場合の値です。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

お手入れのしかた

機能低下を防ぐため、熱交換器、給気フィルター、排気フィルターのお手入れは定期的に行ってください。

お手入れの前に

- VFE-8JDT, 10JDT, 12JDTタイプ壁スイッチを「切」にし、分電盤のブレーカーも切ります。



- VFE-50STタイプ本体スイッチを「切」にし、電源プラグも抜きます。または分電盤のブレーカーを切ります。



- 手袋をご使用ください。



- 台所用中性洗剤をご使用ください。化学ぞうきんやスプレー式クリーナー、シンナー・アルコール・ベンジン・灯油・ガソリン・みがき粉・アルカリ洗剤は使わないでください。



- 本体真下の床等に新聞紙などを敷くことをおすすめします。お手入れの際にはほこりなどが落ちることがあります。

部品のはずしかた

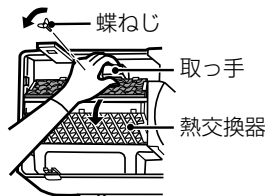
本体カバー

本体カバー下部の手掛け部(2カ所)をもって手前に持ち上げるようにしてはずします。



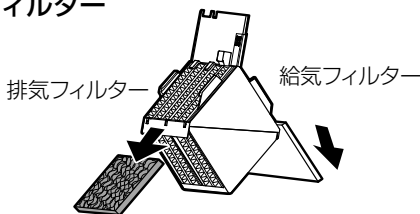
熱交換器

蝶ねじをはずし、取っ手を持って矢印の方向にまわすようにして手前に引き出します。



給気フィルター・排気フィルター

矢印の方向にはずします。



お願い

- 本体カバーをはずす前に必ず電源を切ってください。内部で羽根が回っているので、けがの原因になります。
- 冬期、熱交換器が凍結することがあります。このときは無理に取り出さないでください。(掃除は熱交換器前面のほこりを取るだけにしてください。)

各部の掃除

熱交換器の掃除 (6 ヶ月に 1 回以上)

- ほこりを掃除機で吸い取ります。
- 掃除のノズルは長いはけ付きのものを軽く当てて掃除してください。



お願い

- 熱交換器は絶対水洗いしないでください。
- 水、熱湯、薬品、揮発性の溶剤などをかけないでください。
- 落としたり、強い力を加えたりしないでください。
- 火にあぶらないでください。

給気フィルター・排気フィルターの掃除 (6 ヶ月に 1 回以上)

- ほこりを掃除機で吸い取ります。
- 汚れのひどいときは、水またはぬるま湯に台所用中性洗剤を溶かして軽く押し洗いし、水で洗剤を流してからよく乾かします。



お願い

- もみ洗いはしないでください。
- 乾かすときは、日かげで自然乾燥してください。
- 熱湯や薬品をかけないでください。
- ドライヤー・ストーブの温風など、高温での乾燥はやめてください。
- 火にあぶらないでください。

本体、本体カバーの掃除 (3 ヶ月に 1 回以上)

- 台所用中性洗剤を水またはぬるま湯に溶かした溶液に布を浸し、固くしぼってから汚れをふきとります。
- 洗剤が残らないよう、きれいな布でふきとってください。



お願い

- 本体・本体カバーは水洗いしないでください。

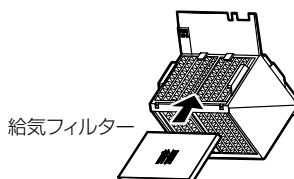
お手入れ後の組立

はずした逆の順序で組み立てます。

1 給気フィルター・排気フィルターを熱交換器に取り付けます。

給気フィルターは印刷面が「前側」となるよう取り付けてください。

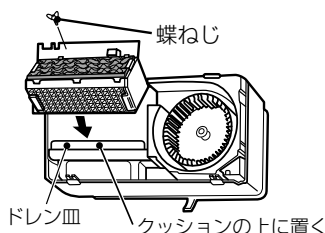
排気フィルターは前面・背面の区別がありません。



2 熱交換器を取り付けます。

ドレン皿のクッション部に置き、本体にはめ込み蝶ねじで固定します。

排気フィルターの付いている方が正面です。

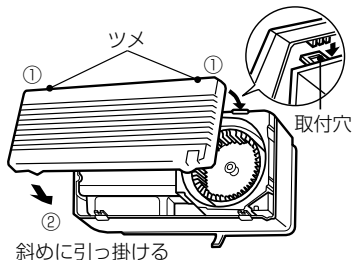


3 必ず給気フィルター・排気フィルター、熱交換器が取り付けられているのを確認し、本体カバーを取り付けます。

①本体カバー上部のツメを本体上部の取付穴(2カ所)に引掛け

②下部を押さえてはめ込みます。

本体カバーが確実に取り付けられていることを確認してください。(不完全ですと落下するおそれがあります。)



お願い

- 熱交換器は素子をつぶさないよう、ていねいに取り扱いってください。
熱交換器の素子がつぶれますと、機能低下の原因になります。
- プラスチック部品の掃除にはシンナー、ベンジン、灯油、ガソリン、ベンゾール、アルコール、アルカリ性の合成洗剤などは使用しないでください。変色、変質、破損の原因になります。
- プラスチック部品は、60℃以上の熱湯をかけたり、熱湯に浸したりしないでください。
変形、破損の原因になります。

試運転

お手入れが終わりましたら正常に運転するか、確認してください。

●羽根は回っていますか。

●異常な振動・騒音はありませんか。

MEMO

修理を依頼される前に

下記のような現象が生じた場合は、お客さま自身で点検してください。

現 象	点 検
スイッチを入れても羽根が回転しない。	●ブレードが、切れていませんか。 ●停電ではありませんか。 ●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。(VFE-50ST)
運転中に異常音や振動がする。	●換気扇が、確実に取り付けられていますか。 ●羽根が確実に取り付けられていますか。

- 上記の点検をしても症状が変わらないときは、事故防止のため、すぐに電源を切って、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。(有料)
- ※ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は **お買い上げの販売店へご相談ください。**
販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター

フリーダイヤル
0120-1048-00

受付時間：365日 9:00～20:00
携帯電話・PHSなど **03-5326-5038** (通話料：有料)
FAX 045-461-3493 (通信料：有料)

・お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供する場合があります。

修理を依頼されるときは

●ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切り、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品 名	空調換気扇
形 名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お 名 前	
電 話 番 号	
訪問希望日	
便 利 メ モ	お買い上げ店名 ☎ () -

出張修理


修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技 術 料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。
出 張 料	商品のある場所へ、技術者を派遣する料金です。

補修用性能部品の保有期間

●換気扇の補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。



愛情点検

●長年ご使用の換気扇の点検を！

ご使用の際 このようなことは ありませんか。	●スイッチを入れても羽根が 回転しない。 ●運転中に異常音や振動がする。 ●回転が遅い、または不規則。 ●こげ臭い、においがする。	ご使用 中 止	故障や、事故防止のため、電源 を切って必ず販売店・工事店に ご連絡ください。 点検、修理に要する費用は販売 店・工事店にご相談ください。
------------------------------	---	------------	--

東芝キヤリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原 336 番地

本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助として、
主なプラスチック部材に材料名を表示しています。